

花きの県別生産出荷概況(10月見通し)

品目	県名	作付面積ha (前年比)	主な品種	10月出荷見込み 千本		主産地	10月のピーク		
				全出荷量	京浜地域		上	中	下
バラ	群馬県	20.1 (100%)	ローテローゼ ティケネ ノブレス	1,130 (100%)	800 (100%)	前橋市、甘楽富岡、 利根沼田	25	40	35
	栃木県	13 (95%)	ローテローゼ レッドスター ノブレス	600 (95%)	550 (95%)	宇都宮 小山	30	40	30
	山梨県	4.5 (100%)	ローテローゼ サムライ	350 (100%)	320 (100%)	笛吹市 (御坂町)	35	35	30
輪ぎく	栃木県	39 (97%)	神馬 精興光玉	1,350 (105%)	250 (100%)	大田原 塩谷 小山 真岡 他	30	40	30
	秋田県	32 (100%)	精の曲、岩の白扇 スーパーイエロー 北の八海、精妃 精の零、神馬	7,408 (96%)	3,400 (96%)	JAこまち JA秋田しんせい JA秋田おばこ JA秋田ふるさと	30	40	30
小菊	秋田県	30 (107%)	玉姫、このみ 小雨、紅天下 やぶさめ	6,700	3,080	JAこまち JA秋田しんせい JA秋田おばこ JA秋田ふるさと	40	35	25
アルストロメリア	北海道	8.3 (98%)	レベッカ オルガ メイフェア エベレスト	7,302 (96%)	2,250 (96%)	新篠津村 (JA新しのつ)	20	40	40
	山形県	10.2 (101%)	レベッカ オルガ レモン エベレスト アバランジェ プッチーニ	216 (50%)	95 (50%)	JA山形おきたま JA鶴岡 JAそでうら	25	25	50
ストック	山形県	43 (98%)	アイアンシリーズ カルテットシリーズ 雪波 朝波 他	700 (46%)	550 (63%)	庄内地域 村山地域	5	30	65

品目	県名	作付面積ha (前年比)	主な品種	10月出荷見込み 千本		主産地	10月のピーク		
				全出荷量	京浜地域		上	中	下
トルコギキョウ	栃木県	5 (100%)	ポレロホワイト 一番星	77 (105%)	35 (105%)	足利 小山	30	40	30
	秋田県	11 (110%)	こまちホワイトドレス ロジーナスノー 海ほのか ポヤージュホワイト	2,098	965	JAこまち JA秋田しんせい JA秋田おばこ JA秋田ふるさと JAおものがわ	15	40	45
	北海道	30.1 (97%)	ピッコローサスノー 北斗星 パレオピンク ロジーナ3型ホワイト	6,451 (102%)	1,900 (102%)	由仁町(JAそらち南)	40	30	30
	福島県	11.5 (99%)	ロジーナ系	550 (91%)	480 (95%)	あいづ 会津みどり	40	30	30

品目	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
バラ	<p>作柄：並 8～9月は高温の影響により丈が短く、開花はやや前進傾向にあったが、今後気温が下がれば品質は良くなると思われる。病害虫の発生は少ない。</p> <p>現在、高温の影響で茎長は短く、花も小輪傾向。気温が下がってきており、品質は向上傾向。</p> <p>タバコガの発生が多い。</p>	<p>現状 西南暖地、高冷地ともに猛暑の影響を受け上位等階級の発生率が低く、全体量も昨年より少ない状況。ケニア、エチオピア産に関しても現地の天候不順により入荷量は少なめ。敬老の日、プライダル需要で引き合いは強まったものの、十分な供給がなされず、高値での取引が続いている。</p> <p>見通し 国産については全国的に夜温も下がり始め、徐々に品質も回復する見込み。輸入品に関しても10月一杯は大輪系を中心に安定した入荷となる見込み。</p> <p>大田花き： 中～下旬からのまとまった入荷。プライダル需要が本格化する。保合相場の見込み。</p> <p>FAJ： 需要・入荷共に多く無い時期で業務需要中心の流れ。品種・品質格差による単価差は出る。SD@70 SP@80</p> <p>第一花き： 需要・入荷共に多く無い時期で業務需要中心の流れ。品種・品質格差による単価差は出る。SD@70 SP@80</p>
輪ぎく	<p>出荷量は前年並みの見込み。高温の影響で生育は遅れ気味。だらだらとした集荷になりそう。白系は「精の一世」と「神馬」が半々になる見込み。ハスモンヨトウの発生が多い。</p> <p>高温の影響により遅れている。特に小菊については1週間から10日間の遅れ。SP菊の出荷量は9月より若干増える予定。</p>	<p>現状 高温、干ばつの影響で全国的に遅れが目立ち、需要期のお彼岸中心に例年より少なめの入荷となる。その為、需要気前の上旬より相場は上がり需要期中は高値での取引となった。需要期後は引合いも落ち着き例年通りの取引となった。</p> <p>見通し 高冷地産の荷が減少するにつれて周年産地の品種が秋系に徐々に切り替わってくる。入荷量は例年並を予想しており引合いは需給バランス次第となる見込み。</p> <p>大田花き： 入荷量は落ち着く見込み。仏花・業務需要中心の取引となる。引き合いは落ち着く見込み。</p> <p>FAJ： 入荷量は落ち着く見込み。仏花・業務需要中心の取引となる。引き合いは落ち着く見込み。</p>
小菊	<p>高温の影響により遅れている。特に小菊については1週間から10日間の遅れ。SP菊の出荷量は9月より若干増える予定。</p>	<p>現状 高温、干ばつの影響で全国的に遅れが目立ち、お彼岸需要期の入荷は例年に比べ極端に少なく、注文の納品もままならない状況となった。その為需要期中は活発な引合いとなり高単価で推移した。需要期後は残った荷も例年より多く相場を下げた販売となった。</p> <p>見通し 品種の移り変わりが激しくなる為に色バランスは日々偏った物となる。10月前半から中旬迄安定入荷となるも、10月の後半から11月の前半迄は、沖縄の入荷が本格化するまで、入荷量が減少し端境となる見込みです。</p> <p>大田花き： 入荷量は減少見込み。前半は引き合い落ち着く。中下旬にやや回復見込み。</p> <p>FAJ： 業務需要中心の流れ大きな需要もなく安定した流れ。@30</p> <p>第一花き： 業務需要中心の流れ大きな需要もなく安定した流れ。@30</p>
アルストロメリア	<p>暑さの影響により全体的に花付きが悪く、出荷数の減少が続いている。</p> <p>7月～9月上旬までの高温により、生育停滞やブラインド茎の発生が見られ、10月の出荷量は前年よりも少ない見込み。</p>	<p>現状 愛知、山形、北海道中心の入荷。各産地夏場の高温等天候の影響を受け、新植ものを中心に生育鈍く、例年に比べて少ない入荷となっている。</p> <p>見通し 引き続き愛知、山形、北海道の中心の入荷。天候の影響が残り、10月上旬までは数量回復傾向が見られない見込み。</p> <p>大田花き： 月後半になり、入荷量増加となる見込み。相場は保合相場で推移する見込み。</p> <p>FAJ： 業務需要中心の流れ、特に大きな需要も無い時期で有るが安定した流れ。@80</p> <p>第一花き： 業務需要中心の流れ、特に大きな需要も無い時期で有るが安定した流れ。@80</p>
ストッケ	<p>生育は、一部の産地で平年よりも遅れているが、概ね良好である。高温の影響で花芽分化がやや遅くなる可能性があり、出荷開始は平年並～やや遅い見込み。</p>	<p>現状 現在出荷ありません。</p> <p>見通し 猛暑の影響で例年よりもやや生育が遅れている為、出回り時期は下旬になる見込み。気温の落ち着き方にも左右されるが引合いはある程度見込まれている。</p> <p>大田花き： 猛暑の影響で例年よりもやや生育が遅れている為、出回り時期は下旬になる見込み。気温の落ち着き方にも左右されるが引合いはある程度見込まれている。</p>

品目	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
トルコギキョウ	抑制作型が出荷される。生育は1週間程度前進している。草丈は短かったが、気温の低下により伸び始めている。	<div data-bbox="730 210 810 241" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">現状</div> <p>各産地、全体的に前進傾向となっており上中旬までは昨年並みに数量はあるものの下旬には減少する。ブライダル需要主体ではあるがお彼岸、敬老の日の需要も重なり月を通して活発な取り引きなる。</p>
	前進傾向にあり、10月出荷は例年に比べ減る見込み。一部高温障害による葉焼けあり。	<div data-bbox="730 356 810 387" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">見通し</div> <p>高冷地は7月、8月と高温の影響で例年より前進しており産地により大幅に減少する見込み。西南産地の出荷も早まる見込みではあるが数量面では例年並みの数量には追い付かず品薄な状況が予想される。販売に関してはブライダル需要を中心に9月同様、安定した取り引きが見込まれる。</p>
	出荷は前進気味に推移している。出荷終盤を迎え、ピークもなくだらだらした出荷が続く見込み。	<p>大田花き：</p> <p>FAJ： 秋のブライダル需要中心の取引。前進出荷のため、品薄予想。</p>
	6月以降高温が続いていたため10月咲きの作型についても開花が前進。草丈が確保されないうちに着蓄していた状況で草丈が短めの物が割合としては多くなるか。	<p>第一花き： 業務・ブライダル需要主体の流れ、全体的に前進気味のため、品種により単価差は出る。@120</p>

東京市場の切花入荷量と単価(8月)

その1

(単位:千本、円、%)

区分		第一花き		大田花き						FAJ			
		月計	前年比	上旬	前年比	中旬	前年比	下旬	前年比	月計	前年比	月計	前年比
輪ギク	数量	2,298	99%	2,231	86%	2,025	170%	943	77%	5,200	104%	2,814	82%
	単価	65	102%	77	131%	56	114%	53	86%	64	113%	60	115%
SPキク	数量	1,192	102%	1,359	98%	1,214	181%	684	80%	3,259	112%	1,755	151%
	単価	62	103%	67	120%	55	108%	40	77%	57	106%	53	99%
コギク	数量	1,301	114%	1,414	80%	1,494	294%	357	66%	3,267	116%	2,037	101%
	単価	36	97%	47	134%	27	79%	25	71%	35	102%	33	102%
カーネーション	数量	664	98%	721	100%	592	133%	589	105%	1,902	110%	848	123%
	単価	48	109%	46	107%	50	122%	41	95%	46	108%	44	103%
SPカーネーション	数量	471	94%	637	100%	446	100%	407	75%	1,491	91%	1,303	110%
	単価	52	104%	55	98%	57	130%	49	107%	54	109%	36	100%
バラ	数量	324	86%	729	91%	880	126%	815	75%	2,426	94%	1,009	89%
	単価	62	100%	50	96%	46	110%	58	112%	51	104%	49	99%
ユリテッポウ	数量	216	149%	321	104%	172	90%	122	118%	616	102%	86	99%
	単価	59	82%	67	99%	70	152%	48	72%	64	105%	57	92%
ユリアジアンテック	数量	81	79%	123	90%	82	139%	58	85%	265	100%	10	41%
	単価	97	97%	73	100%	82	119%	79	105%	77	106%	70	116%
ユリオリエタル	数量	193	112%	247	95%	231	126%	197	81%	677	98%	457	100%
	単価	200	90%	154	81%	215	112%	174	91%	181	94%	139	94%
カスミノウ	数量	55	78%	82	122%	81	122%	72	112%	236	118%	93	78%
	単価	137	110%	92	88%	109	105%	106	104%	102	99%	96	102%
グラジオラス	数量	71	97%	132	72%	117	133%	113	97%	363	94%	76	105%
	単価	63	109%	57	108%	65	120%	50	91%	57	107%	43	105%
ガーベラ	数量	195	97%	327	88%	390	127%	363	79%	1,081	95%	368	104%
	単価	23	110%	20	105%	18	113%	19	90%	19	100%	21	86%
スターチスシヌータ	数量	311	115%	376	106%	200	107%	163	67%	741	94%	341	93%
	単価	41	95%	48	96%	43	119%	28	82%	42	101%	49	105%
スターチスHB	数量	133	122%	164	98%	111	106%	86	62%	361	88%	21	83%
	単価	60	82%	51	81%	49	86%	47	92%	49	86%	61	78%
カラー	数量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	48	84%
	単価	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	78	101%
トルコギキョウ	数量	537	129%	431	117%	478	153%	407	89%	1,317	115%	725	121%
	単価	85	75%	85	72%	105	88%	77	71%	90	78%	70	68%

その2

(単位:千本、円、%)

区分		第一花き		大田花き								FAJ	
		月計	前年比	上旬	前年比	中旬	前年比	下旬	前年比	月計	前年比	月計	前年比
シンビジューム	数量	10	106%	10	85%	10	176%	10	79%	31	100%	8	98%
	単価	567	120%	583	116%	623	114%	604	119%	603	118%	636	125%
デンファレ	数量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	211	70%
	単価	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	38	120%
アルストロメリア	数量	22	33%	28	49%	55	99%	45	48%	129	62%	61	57%
	単価	86	113%	86	110%	98	136%	83	120%	90	125%	83	122%
ブバルディア	数量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44	68%
	単価	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	43	99%
ヒマワリ	数量	150	88%	306	102%	277	127%	253	95%	836	107%	-	-
	単価	51	98%	52	100%	54	102%	54	89%	53	96%	-	-
クジャクソウ	数量	16	64%	54	91%	32	171%	32	99%	120	107%	30	115%
	単価	61	95%	44	102%	44	100%	45	90%	44	98%	50	103%
リンドウ	数量	973	131%	1,030	98%	1,220	205%	515	89%	2,766	124%	817	84%
	単価	43	102%	50	116%	34	87%	29	73%	39	95%	37	97%
アスター	数量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	164	75%
	単価	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	45	111%
デルフィニューム	数量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	112	79%
	単価	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	83	105%
切花総数	数量	11,327	104%	14,987	94%	13,554	153%	9,326	78%	37,868	103%	-	-
	単価	60	102%	60	109%	54	104%	52	93%	56	102%	-	-